

ご存知ですか？

国民年金保険料免除制度

経済的な理由等で国民年金の保険料を納めることが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除される「保険料免除制度」があります。

国民年金 だより

問い合わせ先
市民課

☎40-5556

栃木社会保険事務所

☎0282-22-6074、4134

全額免除制度

◎保険料の全額(14,660円)が免除

全額免除された期間は保険料を全額納付したときに比べ、年金額が1/3として計算されます。

☆☆全額免除となる所得の「めやす」☆☆

前年の所得が以下の計算式で計算した金額の範囲内であること
(扶養親族等の数+1)×35万円+22万円

※申請者ご本人のほか、配偶者及び世帯主の方も所得基準の範囲内である必要があります。

※平成21年4月から6月分の申請については、前々年(平成19年)の所得で審査を行います。

※国民年金保険料の免除に係る国庫負担割合は、平成21年度分から2分の1へと引き上げられるよう、法律案が現在、国会に提出されています。

一部納付(一部免除)制度

◎保険料の一部納付、残りの保険料は免除

一部納付は3種類です。それぞれの納付額と年金額の計算は次のとおりです。

4分の1納付(3,670円)	→	年金額1/2	(国庫負担引上以降 5/8)
半額納付(7,330円)	→	年金額2/3	(国庫負担引上以降 6/8)
4分の3納付(11,000円)	→	年金額5/6	(国庫負担引上以降 7/8)

☆☆一部納付となる所得の「めやす」☆☆

前年所得が以下の計算式で計算した金額の範囲内であること

○4分の1納付	→	78万円+扶養親族等控除額+社会保険料控除額等
○半額納付	→	118万円+扶養親族等控除額+社会保険料控除額等
○4分の3納付	→	158万円+扶養親族等控除額+社会保険料控除額等

※申請者ご本人のほか、配偶者及び世帯主の方も所得基準の範囲内である必要があります。

※平成21年4月～6月分の申請については、前々年(平成19年)の所得で審査を行います。

(注) 一部納付制度は、納付すべき保険料を納付されない場合、その期間の一部免除が無効(未納と同じ)となるため、将来の老齢基礎年金の額に反映されず、また、障害や死亡といった不慮の事態が生じた場合に、年金を受け取ることができなくなる場合がありますのでご注意ください。